



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴鳥言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

人の為

理科 永迫昌毅

「情けは人の為ならず」はよく誤解されて使われているらしい。本来の意味は「人に情けをかけると、巡り巡って自分の為になる」という意味だが、「人に情けをかけるとその人の為にならないのでやめた方がいい」という間違った意味で使われている。しかし、言葉の本来の意味は別にしても、どちらの解釈も一理あり、情けがだれの為かはケースバイケースといったところか。さて、この言葉に「人の為」とある。毎日毎日懸命に働いているのはいったい誰の為か考えたことがあるだろうか。いや、もちろん、赤の他人の為のものはなく、自分の食い扶持の為に働いているので、自分や家族の為だろう。

本校に赴任して一年目の終わりに、「毎週日曜日に卒業生向けの講義をしないか」という話が出た。日曜日は予備校の授業もなく、少しでも卒業生の援助になればとのことである。しかし、土曜日は部活、日曜日にも講義では、働いてばかりで自分の休みがなくなる。正直な気持ち、「予備校に通っているのだから、卒業した後も勉強の面倒を見るのだから、やりすぎかな」とも思った。学校で決めたことではないのでやらないことは簡単であつたが、とりあえず決断は保留し、この日曜日の講義が何か自分のためになるのか考えてみた。やるとしたら何を教材にしよう。適当な問題集を選んで教材にするか。それともオリジナルで何か教材を作るか。やるのであれば自分の為にも意味があることにしたい。よし、その分野の難問を構成しなおして、物理の本質がわかるような新しい教材を作ってみるか。考えているとそれなりに乗り気になってきて、「新しい教材を作って自分の為にしよう」という一点の理由でやってみることにした。

7月の行事予定

Calendar table with columns for date, event name, and status (e.g., 授業, 行事, 休日).



(上) 悠学館におかれたベンチ。生徒たちが思い思いに本を開き、思索を深めます。



(右) 職員室前の廊下に置かれたベンチは、落ち着いた色で校内の雰囲気になじんでいます。質問や教育相談で大いに活用されています。

「来週も授業するけど、来られるかな？」と声を掛けている自分。あれ？どうしてこんなに積極的にやっているの？ 普段の仕事とは別の仕事であるだけに、今さらながら、人の役に立つことの喜びを感じている自分がそこにいた。人の為に簡単に言うが、そんなに簡単にできることではない。自分を犠牲にして、我慢して人の為に働くなんてあまりいいこととも思えない。でも、それが何か自分の為にもなることを考えることができたら動き出せる。そして、結局は、誰かの為になることって本当に楽しいことなのだと実感してしまつた。自分の為に始めたことなんて忘れていた。

まあ、結婚して二十年近くたつと、日曜日に家にも邪魔者扱い、であることは卒業生には伏せておこう。創立百周年記念誌『創立百年』の四六八ページを開くと、一枚の写真が掲載されています。写真につけられた説明は、「天に伸びゆくメタセコイア」。現在も中庭でまっすぐ天を指すようにそびえるメタセコイアについての説明が書かれています。『創立百年』によると、メタセコイアは、一九回生の卒業（昭和四三年三月卒業）を記念して植樹されたものです。樹齢は現在四八歳。昭和四三年に七本植樹されたもののうち、三本が残っていました。しかし、今年一月、三本のうちの一本が地下に大きく根を張つたため電気室の地下で排水施設を圧迫、漏電の危険性まで指摘される事態になりました。その一本は切除を余儀なくされます。本校職員も皆、切除の決断を断腸の思いで聴いていました。現在では、残つた二本のメタセコイアが競うようにそびえ立っています。

形を変えて生きるメタセコイア

中央部分は、漆黒に近い味のある深い色。「生きた化石」と称されたメタセコイアの種の歴史を彷彿とさせます。座面の周縁部分は木目の若々しい色が見られ、この木がまだ若々しく生きていたのだということ、そして樹木の生命を感じさせます。座面を支える足の部分も幹をそのまま使っています。形を変えて本校に戻ってきたメタセコイア。ベンチは、職員室前の廊下と悠学館に置かれ、生徒たちの生活に溶け込んでいます。みなさん、是非、おかけになってみてください。

三年生、下級生を圧倒

前期クラスマッチ



いつも学んでいる教室には誰一人いません。校舎をバックに、クラスのみなが応援する中、勝利を目指してボールを追いかけます。

梅雨のぐずつとした空模様が続いていますが、六月九日十日は晴天に恵まれ、前期クラスマッチが開催されました。今年度から対戦形式が変更され、学年別ではなく、全学年で優勝を争う形となりました。三年生にとっては高校生活最後のクラスマッチ、並々ならぬ気迫がみなぎっていたようです。一年生は初めて先輩たちに本気でぶつかる行事です。少し遠慮がちな試合前の様子でしたが、本番になると臆することなく二、三年生にぶつかっていききました。体格差ももろとせず、澁刺としたプレーを見せていました。最後まで天気に恵まれて、クラスの団結を

Table with sports results: 種目 (Sport), 優勝 (Winner), 2位 (2nd), 3位 (3rd). Includes categories like 総合順位, 男子バレー, 女子バレー, etc.

強く感じた二日間でした。結果は三年生が食いつかろうとする一、二年生を圧倒。七種目をうち六種目が制ししました。総合順位も三位までを独占しました。三年生は勢いこのまま、自分の進路を切り拓いてくれることでしょう。一方で、一、二年生は、これから鶴丸を背負っていきます。強い三年生の背中を見て、その強さを超える学年団を作っていくってほしいものです。各種目および総合の順位は次の通りです。

全国、全九州の舞台へ 体育系部活動生の活躍
部活動生が頑張っています。今年度も、多くの種目で全国高校総体、九州高校総体に駒を進めました。全国、九州ではばたく若鶴たちに、応援をよろしくお願いします。

※文化系部活動の結果は、次号でお知らせします。